

改訂日 2020年10月15日

製品安全データシート

製品及び会社情報

化学品等の名称	菌士郎 <sup>®</sup> Bact-Collect ATP発光キット
製品コード	LL100-BCHS
会社名	東洋ビーネット株式会社
住所	東京都中央区京橋二丁目2番1号
電話番号	03-3272-3741
FAX番号	03-3272-8276
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用

製品セット内容

ATP発光試薬BCHS  
発光試薬溶解液BCHS  
ATP標準試薬  
ATP抽出試薬  
試薬C

## 製品安全データシート

## 1. 化学品等及び会社情報

化学品等の名称	ATP発光試薬BCHS
会社名	東洋ビーネット株式会社
住所	東京都中央区京橋二丁目2番1号
電話番号	03-3272-3741
FAX番号	03-3272-8276
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	物理化学的危険性	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性	区分外
		皮膚腐食性・皮膚刺激性	区分外
		眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分外
		特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分外

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

## GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	非該当
注意書き	非該当

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ATP発光試薬BCHS
濃度又は濃度範囲	—
分子式(分子量)	情報なし
CAS番号	情報なし
官報公示整理番号(化審法)	情報なし
官報公示整理番号(安衛法)	情報なし
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし

## 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の手当、診断を受けること。
---------	-----------------------------

応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	情報なし
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏洩区域への関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用する。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、水で洗い流す。 漏れを止める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	適切な個人用保護具を着用する。
-----	-------	-----------------

## 安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
接触しないこと。飲み込まないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
使用後は容器を密閉すること。

### 保管 安全な保管条件

直射日光を避け、密栓して適切な温度で保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度  
許容濃度 日本産衛学会(2014年度版)  
ACGIH(2014年版)

未設定  
未設定  
未設定

### 設備対策

保護具 呼吸用保護具  
手の保護具  
眼の保護具

取扱い場所の近くに手洗い設備を設けること。  
必要に応じて、適切な保護マスクを着用すること。  
必要に応じて、適切な保護手袋を使用すること。  
必要に応じて、適切な保護眼鏡を着用すること。  
(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

### 皮膚及び身体の保護具

必要に応じて適切な保護衣を使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状  
色  
臭い  
pH

固体

白  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし

融点・凝固点  
沸点、初留点及び沸騰範囲  
引火点  
蒸発速度(酢酸ブチル=1)  
燃焼性(固体、気体)  
燃焼又は爆発範囲  
蒸気圧  
蒸気密度  
比重(相対密度)  
溶解度  
n-オクタノール/水分配係数  
自然発火温度  
分解温度  
粘度(粘性率)

## 10. 安定性及び反応性

反応性  
化学的安定性  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

データなし  
データなし  
データなし  
直射日光、熱  
データなし  
データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口  
経皮  
吸入:ガス  
吸入:蒸気  
吸入:粉じん及びミスト  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性  
呼吸器感受性  
皮膚感受性  
生殖細胞変異原性  
発がん性  
生殖毒性  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
吸引性呼吸器有害性

区分外  
区分外  
分類対象外  
区分外  
区分外  
区分外  
区分外  
区分外  
区分外  
区分外  
区分外  
区分外  
分類できない。  
分類できない。  
分類できない。  
分類できない。  
分類できない。

<p>12. 環境影響情報  生態毒性 水生環境有害性(急性)  水生環境有害性(長期間)  オゾン層への有害性</p>	<p>区分外  区分外  分類できない</p>
<p>13. 廃棄上の注意  残余廃棄物  汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p>
<p>14. 輸送上の注意  国際規制  国内規制 海上規制情報  航空規制情報  陸上規制情報  特別安全対策    緊急時応急措置指針番号</p>	<p>非該当  非危険物  非危険物  非危険物  直射日光を避けること。また、容器が漏れのないことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積載して運搬すること。    該当しない</p>
<p>15. 適用法令  化審法  労働安全衛生法  毒物及び劇物取締法</p>	<p>非該当  非該当  非該当</p>
<p>16. その他の情報  参考文献</p>	<p>各データ毎に記載した。</p>

## 製品安全データシート

## 1. 化学品等及び会社情報

化学品等の名称	発光試薬溶解液BCHS、ATP抽出試薬、ATP標準試薬
会社名	東洋ビーネット株式会社
住所	東京都中央区京橋二丁目2番1号
電話番号	03-3272-3741
FAX番号	03-3272-8276
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	物理化学的危険性	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性	区分外
		皮膚腐食性・皮膚刺激性	区分外
		眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分外
		特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分外

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

## GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	非該当
注意書き	非該当

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	発光試薬溶解液BCHS、ATP抽出試薬、ATP標準試薬
濃度又は濃度範囲	—
分子式(分子量)	情報なし
CAS番号	情報なし
官報公示整理番号(化審法)	情報なし
官報公示整理番号(安衛法)	情報なし
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし

## 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の手当、診断を受けること。
応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	情報なし
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏洩区域への関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用する。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、水で洗い流す。 漏れを止める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	適切な個人用保護具を着用する。
-----	-------	-----------------



<p>12. 環境影響情報  生態毒性 水生環境有害性(急性)  水生環境有害性(長期間)  オゾン層への有害性</p>	<p>区分外  区分外  分類できない</p>
<p>13. 廃棄上の注意  残余廃棄物  汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p>
<p>14. 輸送上の注意  国際規制  国内規制 海上規制情報  航空規制情報  陸上規制情報  特別安全対策    緊急時応急措置指針番号</p>	<p>非該当  非危険物  非危険物  非危険物  直射日光を避けること。また、容器が漏れのないことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積載して運搬すること。    該当しない</p>
<p>15. 適用法令  化審法  労働安全衛生法  毒物及び劇物取締法</p>	<p>非該当  非該当  非該当</p>
<p>16. その他の情報  参考文献</p>	<p>各データ毎に記載した。</p>

## 製品安全データシート

## 1. 化学品等及び会社情報

化学品等の名称	試薬C
会社名	東洋ビーネット株式会社
住所	東京都中央区京橋二丁目2番1号
電話番号	03-3272-3741
FAX番号	03-3272-8276
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	物理化学的危険性	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口・吸入)	分類できない
		皮膚腐食性・皮膚刺激性	分類できない
		眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分外
		特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	環境に対する有害性	水生環境有害性(急性・長期間)	区分外

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

## GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	非該当
注意書き	非該当

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	試薬C
濃度又は濃度範囲	—
分子式(分子量)	情報なし
CAS番号	情報なし
官報公示整理番号(化審法)	情報なし
官報公示整理番号(安衛法)	情報なし
分類に寄与する不純物及び安定	情報なし

## 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の手当、診断を受けること。
応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	情報なし
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏洩区域への関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用する。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、水で洗い流す。 漏れを止める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	適切な個人用保護具を着用する。
-----	-------	-----------------





- |   |  |
|---|--|
| <p>12. 環境影響情報</p> <p>生態毒性 水生環境有害性(急性)</p> <p>                  水生環境有害性(長期間)</p> <p>オゾン層への有害性</p>  | <p>区分外</p> <p>区分外</p> <p>分類できない</p>  |
| <p>13. 廃棄上の注意</p> <p>残余廃棄物</p> <p>汚染容器及び包装</p>  | <p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p>   |
| <p>14. 輸送上の注意</p> <p>国際規制</p> <p>国内規制 海上規制情報</p> <p>                  航空規制情報</p> <p>                  陸上規制情報</p> <p>特別安全対策</p> <p>緊急時応急措置指針番号</p> | <p>非該当</p> <p>非危険物</p> <p>非危険物</p> <p>非危険物</p> <p>直射日光を避けること。また、容器が漏れのないことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積載して運搬すること。</p> <p>該当しない</p>  |
| <p>15. 適用法令</p> <p>化審法</p> <p>PRTR法</p> <p>労働安全衛生法:</p>   | <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p>   |
| <p>16. その他の情報</p> <p>参考文献</p> <p>免責事項</p>   | <p>各データ毎に記載した。</p> <p>このSDSはJIS Z 7253:2012に準拠しております。記載内容は通常の実施を前提としたものであり、他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。改定日における最新の情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅しているものではありませんので、新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。</p> |